

令和元年度事業報告

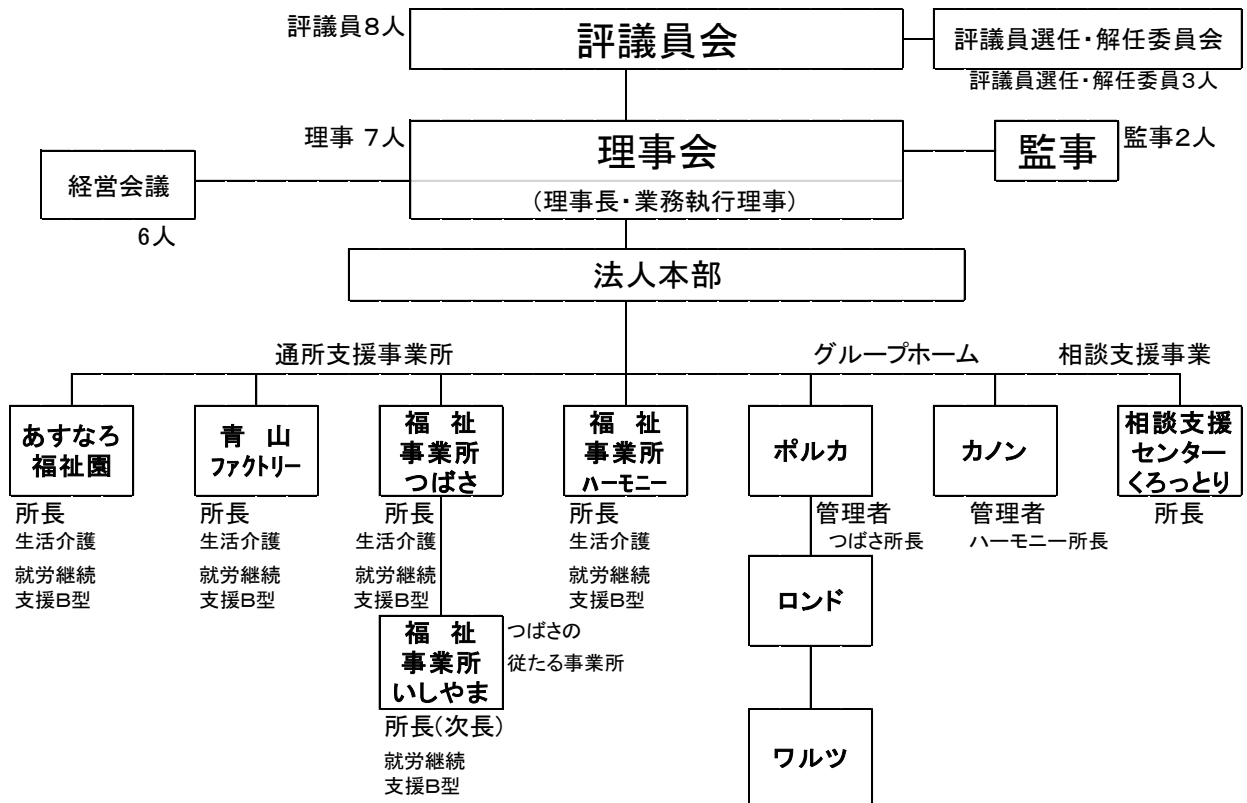
目次

1	法人本部	(2 頁)
2	あすなろ	(13 頁)
3	青山ファクトリー	(19 頁)
4	つばさ	(25 頁)
5	いしやま	(31 頁)
6	輪っとくらぶ	(36 頁)
7	ハーモニー	(37 頁)
8	グループホーム ポルカ	(43 頁)
9	グループホーム カノン	(45 頁)
10	相談支援センターくろっとり	(47 頁)

令和元年度事業報告 法人本部

法人理念： 障がいのある人の「当たり前」の人生の実現

社会福祉法人 新潟地区手をつなぐ育成会の組織図 (令和2年3月31日現在)



1 令和元年度の主な事業

1) 障害福祉サービス事業の展開

5つの事業所、4つの共同生活住居及び特定相談支援事業所において、ご利用者支援事業に取り組みました。

令和元年度 1日平均利用者数 ()内は前年度の数値			
施設等の区分	名 称	生活介護	就労継続B
障がい福祉サービス事業所 (通所支援事業所)	あすなろ福祉園	26.1人 (27.3人)	17.1人 (18.0人)
	青山ファクトリー	13.1人 (13.6人)	25.8人 (25.2人)
	福祉事業所つばさ	10.1人 (11.5人)	18.3人 (18.3人)
	従たる事業所 福祉事業所いしやま		12.8人 (13.1人)
	福祉事業所ハーモニー	29.1人 (28.1人)	10.8人 (10.8人)
法人合計		78.4人 (80.5人)	84.8人 (85.4人)
グループホーム (2事業所4棟)	ポルカ (ポルカ、ロンド、ワルツの3棟)	12.3人 (12.4人)	
	カノン (カノン1棟)	3.9人 (3.9人)	
		計 画	モニタリング
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	13.1件/月 (21.3件/月)	26.1件/月 (15.2件/月)

※ 1日平均利用者数は、小数点以下第2位を切り上げています。

授産・就労作業の実績 ()内は前年度の数値

事業所	生活介護		就労継続B	
	年間売上収入	1人当り工賃/月	年間売上収入	1人当り工賃/月
あすなろ 福祉園	312,529円 (338,005円)	679円 (928円)	2,506,926円 (2,484,294円)	10,845円 (9,367円)
青山 ファクトリー	346,126円 (364,492円)	1,318円 (1,432円)※1	4,205,637円 (4,575,089円)	9,403円 (10,276円)※2
福祉事業所 つばさ	312,977円 (204,198円)	1,798円 (1,000円)	2,416,934円 (2,236,891円)	8,461円 (7,606円)
福祉事業所 いしやま			1,872,516円 (1,963,656円)	7,093円 (7,544円)
福祉事業所 ハーモニー	894,894円 (916,842円)	1,706円 (1,875円)	2,941,574円 (2,664,177円)	13,361円 (12,823円)

※印の1は、支給していない方を除く

※印の2は、他事業所併用の方、支給していない方を除く

2) 福祉事業所つばさ及び法人本部、GH事務所の移転について

(1) 新・つばさ改築工事の設計

- ① 保護者の希望で階段付け替え等の手直し等が入ったことや、工事費積算作業がオリンピックの影響による高騰もあって、令和元年8月までズレこみました。

(2) 新・つばさ改築工事契約について

- ① 選定方法 理事会(8月19日)で指名競争入札とすることが決議されました
- ② 指名競争入札の入札業者選定会議
 - 1回目 9月11日、
 - 2回目 9月18日 候補の選定と指名
- ③ 説明会 令和元年10月30日 (参加5社)
- ④ 入札 令和元年11月20日 (参加5社)
 - ※結果は入札不調、2回目5社中4社が辞退
 - 新潟プレハブ工業株式会社と随契へ
- ⑤ 契約 理事会(11月24日)で工事契約(契約金額 156,750千円)の締結を決議
 - ※上記交渉の結果、新潟プレハブ工業株式会社と合意を得たので契約

(3) 工事の開始

- ① 令和元年11月28日 (なお引き渡し予定日は令和2年5月29日)

(4) 旧豊照小学校(福祉事業所つばさ・本部事務局が借用中)の借用期限延長について

工事期間が令和2年5月末までとなるため、引越しの期間も含め、令和2年6月末まで借用期間の延長を市障がい福祉に申請し市の承認を得ました。

3) 法人全体の事業について

(1) 法人事業所合同お楽しみ会の実施について

法人の5事業所のご利用者及び職員の一体感を醸成するために、12月の障害者週間(毎年12月3日から9日まで)に近い時期に行っています。各事業所と本部の担当者が集まりプログラムや実施方法等を検討したうえで行いました。サンタクロースの登場とプレゼントにはご利用者の皆さんがとても喜んでくれました。ダンスではみんなが笑顔で楽しみました。

日時	令和元年12月10日(火) 10:00~15:00
会場	新潟ふれ愛プラザ
参加事業所	あすなろ園、青山ファクトリー、福祉事業所つばさ、福祉事業所いしやま、福祉事業所ハーモニー
参加者数	125人(ご利用者)
内容	午前 ①エビカニクス体操、②(競技)大掃除ですよー、③(競技)空とぶじゅうたん、④(競技)ワンチーム、 午後 ①ショータイム(各事業所の出し物)、②みんなでダンス ③サンタクロース・プレゼントタイム、④競技結果発表

4) その他・特記事項

(1) 4月5月の大型連休中の臨時開所について

5か所の事業所で標記の10連休中、職員の協力を得て3日間ずつ臨時開所をしました。勤務の職員は他日の振替休日や超過勤務として対処しました。生活介護のご利用者の保護者からは、大変喜ばれました。保護者から今後への期待や具体的な希望、意見のほか職員を気遣う声もありました。その後現場職員の意見や検証した中で、実施はかなりきつかったという反省ができました。今後の実施には、職場の環境づくりが必要であり、課題として検討してまいります。

(2) 福祉事業所いしやまの新設について

福祉事業所つばさの従たる事業所の福祉事業所いしやまを令和2年4月1日付で単独事業所として新設、そのための準備をしました。いしやまの施設は現状のままですが、独立後は、利用定員を20人に増員します。その効果としていしやまは活動しやすくなるのではないかと思います。

(3) 職員人事について

令和元年も昨年に引き続き、臨時・パートから正規職員の登用試験を実施し合格者は4人でした。この制度は人材確保のため有効な手立てなので継続していきます。新卒者の募集には応募者が1名で採用者が1名でした。今後も優秀な人材の獲得を目指していきます。

組織強化の一環として6人の主任の発令内示を行ないました。各事業所のサービス管理責任者、相談支援専門員で年齢や実績、能力等を評価し昇格させました。辞令交付は令和2年4月1日です。

(4) ご利用者満足度調査の実施

6月 アンケート用紙配付 191件

7月 回収 134件 (回収率 70.2%)

12月 集計結果をご利用者保護者に配付

(5) 食品製造に係る関係法令への対応

食品表示法への対応(期間2020年3月迄) (対応済み)

HACCP(食品衛生法)への対応(2020年6月施行) (対応済み)

(6) 事務の効率化のため職員の給与振り込みを、インターネットバンキングに切り替えました。各事業所の給与事務が軽減されました。

(7) 法人社用車の安全管理と事故防止を目的に全車にドライブレコーダーを設置し、事業所内の交通安全教育に役立てることにしました。

(8) グループホーム及び事業所内の調理等で使用していたガスコンロを、火災防止や安全管理のため電磁調理器(IH)に切り替えをしました。

(9) 新型コロナウイルス予防対策について

1月からの国内感染の拡がりに対し、2~3月各事業所の感染予防対策の徹底を図りました。

2 会議の開催

1) 評議員会・理事会の開催

評 議 員 会	
令和元年度 定時評議員会 R 元. 6. 17	議案第 1 号 平成 30 年度収支決算(案)について 議案第 2 号 次期役員(理事・監事)の選任について 報告事項(1) 平成 30 年度事業報告について 報告事項(2) 平成 31 年度(令和元年度)事業計画について 報告事項(3) 苦情解決に関する第三者委員の選任について
令和元年度 臨時評議員会 R 元. 10. 23	報告事項 福祉事業所つばさ等移転計画の進捗状況等について

理 事 会	
令和元年度 第 1 回定時理事会 R 元. 5. 29	議案第 1 号 平成 30 年度事業報告(案)及び収支決算(案)について 議案第 2 号 次期役員(理事・監事)の選任候補者について 議案第 3 号 育児・介護休業等に関する規則の改正について 議案第 4 号 定時評議員会の招集について 報告事項 1 理事長業務執行状況報告について 報告事項 2 青山ファクトリー等の運営規程の改正に係る理事長専決処分について 報告事項 3 平成 30 年度予算の補正に係る理事長専決処分について
令和元年度 第 1 回臨時理事会 R 元. 6. 17	議案第 1 号 理事長の選定について 議案第 2 号 業務執行理事の選定について 報告事項(1) 令和元年度定時評議員会に関する報告について
令和元年度 第 2 回臨時理事会 R 元. 8. 19	議案第 1 号 豊照拠点の移転・基盤更新事業計画の変更について 議案第 2 号 令和元年度資金収支補正予算(案)について 議案第 3 号 福祉事業所つばさ等移転改修工事に係る請負工事の入札方法について 議案第 4 号 請負工事等競争参加者選定委員会設置要綱の改正について 議案第 5 号 福祉事業所つばさ等移転改修工事費に係る借入申込、担保の提供等について 報告事項 1 令和元年度予算の補正に係る理事長専決処分について(4 月 3 日付) 報告事項 2 令和元年度予算の補正に係る理事長専決処分について(6 月 24 日付) 報告事項 3 ポルカ運営規程の一部改正に係る理事長専決処分について
令和元年度 第 3 回臨時理事会 R 元. 11. 24	議案第 1 号 職員給与・賞与・退職金規程の改正について 議案第 2 号 臨時職員等の給与・賞与・退職金に関する取扱要綱の改正について 議案第 3 号 経理規程の改正について 議案第 4 号 契約の締結について 報告事項 1 理事長・業務執行状況報告について 報告事項 2 令和元年度予算の補正に係る理事長専決処分について(令和元年 10 月 1 日付) 報告事項 3 令和元年度予算の補正に係る理事長専決処分について(令和元年 10 月 24 日付) 報告事項 4 令和元年度臨時評議員会に関する報告について

令和元年度 第4回臨時理事会 R2. 2. 13	議案第1号 福祉事業所いしやまの新設について 議案第2号 令和2年4月期人事案件について 議案第3号 福祉事業所いしやま(就労継続支援B型)運営規程の制定について 議案第4号 福祉事業所つばさ(生活介護・就労継続支援B型)運営規程の制定について 【報告事項】 報告事項1 福祉事業所つばさ等移転先建物に係る改修工事の進捗状況等について
令和元年度 第2回定時理事会 R2. 3. 17	議案第1号 令和2年度事業計画(案)について 議案第2号 令和2年度資金収支予算(案)について 報告事項1 理事長・業務執行状況報告について

2) 経営会議の開催

平成31年度 第1回経営会議 R元. 4. 29	1 豊照拠点の移転・基盤更新事業計画について 2 新・つばさ改修工事に係る進捗状況について 3 今後の日程等について
令和元年度 第2回経営会議 R元. 5. 22	1 平成30年度事業報告(案)及び収支決算(案)について 2 次期役員(理事・監事)の選任候補者について 3 育児・介護休業等に関する規則の改正について 4 定時評議員会の招集について 5 理事長業務執行状況報告について 6 青山ファクトリー等の運営規程の改正に係る理事長専決処分について 7 平成30年度予算の補正に係る理事長専決処分について
令和元年度 第3回経営会議 R元. 8. 6	1 第2回臨時理事会について 2 新・つばさ改修工事に係る進捗状況について 3 今後の日程等について
令和元年度 第4回経営会議 R元. 9. 27	1 新・つばさの移転改修工事について 2 工事業者の選定方法について 3 その他
令和元年度 第5回経営会議 R元. 10. 21	1 工事費用の見積もり額について 2 入札の指名業者選定について 3 現場説明会について 4 評議員会の開催について 5 今後の日程について
令和元年度 第6回経営会議 R2. 2. 3	1 第4回臨時理事会について 2 新・つばさ改修工事に係る進捗状況について 3 今後の日程等について
令和元年度 第7回経営会議 R2. 3. 2	1 第2回定例理事会について 2 令和2年度事業計画(案)について 3 令和2年度資金収支予算について 4 理事長・業務執行状況報告について

3) 所長・次長会議の開催

毎月第4火曜日午後4時から開催。5事業所の所長及びグループホーム職員と、理事長、事務局長及び事務局次長が出席し各所属からの報告及び協議を行いました。

4) 福祉事業所つばさ移転改築工事の定例会議の開催

令和元年12月16日の着工以後、月2回程度(2週間毎)のペースで、設計者(株式会社鈴木設計企画)、工事業業者(新潟プレハブ工業株式会社)、つばさ職員、本部職員による連絡会議を開催し、工事の確認と連絡調整を図りました。

5) 各担当者会議等の開催について

① サービス管理責任者会議

各事業所のサービス管理責任者が月1回集まり、個別支援計画の作成や支援サービスについての共通理解と平準化を図りました。また、業務の効率化や支援のスキルアップについて課題を出し解決策を話し合いました。

② 生活介護担当者会議

各事業所の生活介護担当者が月1回集まり、各事業所の特性に合わせた生活介護のサービスメニューの新規拡充に取り組みました。実際に各事業所のメニューに組み込むことができました。また、ご利用者の興味や特性に合わせて作業の合間に取り組むことができる「個別課題」を各事業所で担当者を中心に製作しました。また、オランダで開発された感覚を刺激することでリラクゼーション効果が期待できる「スヌーズレン(Snoezelen)」について講師を招いて研修をしました。その後、事業所内で試験的に実施した結果、ご利用者への効果が認められたので、今後用具を増やすなどして体験できる機会を増やしていく事にしました。

③ 就労継続支援B型担当者会議

各事業所の就労継続支援担当者が月1回集まり、各事業所の課題や対応について検討しました。特に就労は目標工賃が一人当たり1万円を超えることが大きな目標としていますが、未達成のところがあり、法人全体の課題となっていました。それぞれの事業所が力を合わせて対策を練っています。また、現行作業の効率化や新たな請負事業の獲得、商品の新規開発などアイデアを出し合いました。食品製造に関しては、新たな法規制がかかることから対応について検討しました。

④ 研修担当者会議

各事業所の研修担当者が月1回集まり、年間3回となる法人全体研修の企画運営を行いました。1年間を通して組織力の向上を目標とし、1回目は個人の支援員としての心構え、2回目はコミュニケーション力をつける、3回目はチーム力アップに向けた内容としました。担当者会議では3回を通しての全体の構成、各回の研修テーマと内容、講師等について検討しました。

⑤ 広報担当者会議

法人としての広報誌「つなぐ」創刊号を12月に発行し、ご利用者、関係機関、職員に配付し事業所の活動内容のPRに努めました。創刊号では、各事業所の日常活動の紹介をしました。広報担当者が月1回集り、記事の構成や割り付け、校正等の作業を行ないました。

3 監査

1) 令和元年度監査

令和元年5月15日(水) 星監事、北爪監事による法人の会計監査を実施しました。

2) 新潟市の監査

令和元年10月3日(木) 新潟市福祉部福祉監査課による監査がありました。いくつかの指摘事項がありましたが、市に改善策を報告しました。

4 研修会の開催等

1) 令和元年度第1回法人職員全体研修会

令和元年7月20日(土) 10:00~15:00 (参加者 46人)

会場 新潟市東区プラザ(新潟市東区役所2階) 多目的ルーム2

研修内容

- (1) セルフアドボカシー支援とは? ~“性”課題のある利用者とうどう向き合うか~

講師 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会 権利擁護班

竹田様 (新潟市障がい者基幹相談支援センター西 相談員)

杉山様 (新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉 相談員)

- (2) 支援員としての心構え 役割と意識を再確認しよう

講師 青山ファクトリー阿部所長

2) 令和元年度第2回法人職員全体研修会

令和元年11月9日(土) 9:30~15:30 (参加者 54人)

会場 新潟ふれ愛プラザ 2F研修室

研修内容

- (1) 組織力を高めるコミュニケーション研修 =人間関係と情報共有の質を高める=

講師 株式会社ツクイ 教育研修担当 山郷様

3) 令和元年度第3回法人職員全体研修会

令和2年1月18日(土)10:00~15:00 (参加者 50人)

会場 新潟ふれ愛プラザ 2F研修室

研修内容

- (1) 作業環境体制と職員の健康保持・増進について考える

講師 AIG損害保険株式会社 関信越地域事業本部

新潟支店 ソリシター 山田様

講師 株式会社ジェイアイシー新潟支店 支店長 福嶋様

- (2) 自発的行動と相互理解を認識しチーム力UP!!

講師 青山ファクトリー阿部所長ほか研修担当者

4) 外部派遣研修（県外）

(1) 福祉事業所つばさ

- ① 8月3日～4日 全国盲ろう教育研究会 研究協議会（神奈川県） 1名
- ② 10月3日～4日 新潟県知的障害者福祉協会 先進地視察研修（石川県） 1名
- ③ 11月12日～13日 全国社会就労センター 工賃スタンダード研修（東京都） 1名

5 苦情受付件数

1) 令和元年度苦情受付件数

事業所別		苦情件数(件)	うち利用者からの苦情(件) *1
通所支援事業所	あすなろ福祉園	1 (0)	0 (0)
	青山ファクトリー	0 (4)	0 (0)
	福祉事業所つばさ	0 (1)	0 (0)
	(従たる事業所) 福祉事業所いしやま	0 (1)	0 (0)
	福祉事業所ハーモニー	2 (0)	0 (0)
共同生活援助事業所 (グループホーム)	ポルカ	0 (1)	0 (0)
	カノン	0 (1)	0 (0)
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	0 (0)	0 (0)
計		3 (8)	0 (0)

()内は前年度の数値

*1は社会福祉法第82条の規定による福祉事業所のサービスに対する利用者からの苦情

2) ご意見箱

事業所別		ご意見受付件数(件)	備考
通所支援事業所	あすなろ福祉園	0 (0)	
	青山ファクトリー	0 (4)	
	福祉事業所つばさ	0 (0)	
	(従たる事業所) 福祉事業所いしやま	0 (0)	
	福祉事業所ハーモニー	0 (0)	
共同生活援助事業所 (グループホーム)	ポルカ	0 (0)	
	カノン	0 (0)	
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	0 (0)	
計		0 (4)	

()内は前年度の数値

6 事故報告等

1) 令和元年度事故報告

(1) けが

事業所別		発生件数(件)	備考
通所支援事業所	あすなろ福祉園	1 (5)	
	青山ファクトリー	5 (8)	
	福祉事業所つばさ	0 (1)	
	(従たる事業所) 福祉事業所いしやま	0 (1)	
	福祉事業所ハーモニー	0 (0)	
共同生活援助事業所 (グループホーム)	ポルカ	1 (0)	
	カノン	0 (0)	
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	0 (0)	
計		7 (15)	

()内は前年度の数値

(2) 車両運行に関わる事故

事業所別		発生件数(件)	備考
通所支援事業所	あすなろ福祉園	1 (3)	
	青山ファクトリー	1 (0)	
	福祉事業所つばさ	3 (0)	
	(従たる事業所) 福祉事業所いしやま	0 (0)	
	福祉事業所ハーモニー	0 (0)	
共同生活援助事業所 (グループホーム)	ポルカ	0 (0)	
	カノン	0 (0)	
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	0 (0)	
計		5 (3)	

()内は前年度の数値

2) ヒヤリ・ハット件数

事業所別		ヒヤリハット記録件数(件)	備考
通所支援事業所	あすなろ福祉園	32 (25)	
	青山ファクトリー	26 (20)	
	福祉事業所つばさ	13 (19)	
	(従たる事業所) 福祉事業所いしやま	14 (6)	
	福祉事業所ハーモニー	20 (17)	
共同生活援助事業所 (グループホーム)	ポルカ	0 (0)	
	カノン	0 (0)	
特定相談支援事業所	相談支援センターくろっとり	0 (0)	
計		105 (87)	

()内は前年度の数値

7 職員数

令和2(2020)年3月31日現在の職員の内訳)

※休業中の職員を含む

1) 事業所・雇用区分別

事業所	雇用区分						計
	役員	嘱託	正職員	再雇用	臨時	パート	
あすなろ			13		4	10	27
青山			6		5	4	15
つばさ			7		1	7	15
いしやま			1		3	1	5
ハーモニー			8		1	7	16
GHポルカ			1		2	15	18
GHカノン					(1)	5	5
くろっとり			1	1		2	4
本部	2	1			1		4
計	2	1	37	1	17	51	109

(1) GHの()内は兼務。(2)本部には派遣職員1名が配置されている。

2) 職種別

事業所	職種											計
	所長	次長	サービス管理責任者	生活支援員	就労支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	相談支援専門員	世話人	運転員	事務・その他	
あすなろ	1		1	19	3	1	1			1		27
青山	1		1	6	4	1	1			1		15
つばさ	1		1	6	3	1	1			2		15
いしやま		1	(1)		2	1	1					5
ハーモニー	1		1	9	2	1	1			1		16
GHポルカ			(1)	7					11			18
GHカノン			(1)	1(1)					4			5
くろっとり	1							2			1	4
本部											4	4
計	5	1	4	48	14	5	5	2	15	5	5	109

ア. つばさ所長はいしやま所長及びGHポルカの管理者を兼務、ハーモニー所長はGHカノンの管理者を兼務。イ. いしやまの次長はサービス管理責任者を兼務。ウ. GHのサービス管理責任者は管理者の事業所のサービス管理責任者が兼務。エ. GHのカノンの生活支援員()内はポルカと兼務。オ. 本部には派遣職員1名が配置されている。カ. 本部役員は事務・その他に含む。

令和元年度事業報告 あすなろ福祉園

令和元年度事業の総括

あすなろ福祉園は、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」の実現に向け、支援サービスを実施しました。また、一人ひとりの自立につながる支援を心がけ、次の課題に取り組みました。

(1) 日中活動の充実（ご利用者の個別支援の充実）

書道アートやミュージック・ケアを取り入れ、また他の団体主催のいろいろな活動に参加して、ご利用者の意向や強みを生かした日中活動の提供に努めました。また、ご利用者のニーズに沿った個別課題の充実にも努めました。

(2) ご利用者が快適に過ごすための環境整備（事業所内の環境整備）

ご利用者が過ごしやすい環境を考え、必要な備品を購入し室内のレイアウト変更をしました。日頃から活動室・作業室の整理整頓と環境美化に努めました。また、個別支援で必要となる、ご利用者が静かに落ち着けるような、個別ブースを用意しました。

(3) 研修の充実及び職員が自ら学ぶ環境作り（ご利用者支援の質の向上）

A B A（応用行動分析）や障がい特性に応じた支援など、現場に活かせる研修の充実に努めました。また、職場活性化のためグループワークを取り入れた職員研修を行いました。今後も職員が福祉職として意識を高めていくため、研修に力を入れていきます。

(4) 事故防止と施設の安全管理（安全管理の強化）

職員による委員会を立ち上げ、ひやりはっとや事故への対策の検討と発生防止、また施設の老朽化に伴う安全点検の強化に努めました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績（生活介護（定員 24 名）/就労継続支援 B 型（定員 16 名））

	開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
生活介護 (利用者 32名)	244日 [244日]	6,366人 [6,648人]	26.1人 [27.3人]
就労継続支援B型 (利用者 18名)	244日 [244日]	4,169人 [4,382人]	17.1人 [18.0人]

[]内は前年度の数値 ※小数点以下第2位を切り上げ

(2) 職員体制

令和2年3月31日現在

	正職員	正職員(兼務)	臨時職員	臨時職員(兼務)	パート職員
管理者		1			
サービス管理責任者		1			
生活介護	8		3		8
就労継続支援B型	3		1		1
運転員					1
合計	11	2	4		10

※休業中を含む

2 日中活動の状況

(1) 日課について

時間	月	火	水	木	金
8:30	職員始業				
9:00～9:40	登所・始まりの準備				
9:40～10:00	朝礼・ラジオ体操				
10:00～11:40	作業	作業	作業	作業	作業
11:40～12:00	昼食準備				
12:00～13:00	昼食・昼休み				
13:00～14:50	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動
14:50～15:30	清掃・終わりのミーティング				
15:30～16:00	ご利用者降所(送迎車発15:30) 明日の作業準備など				
17:30	職員終業				

(2) 日課の内容

- ① 生活介護の日常活動
ご利用者を4つの班に分けて、班毎のグループ活動を実施しました。
運動、散歩、音楽、創作、外出、調理実習、リトミック活動(月3回)、
書道アート、ミュージック・ケア、紙すきの創作活動(グループ単位)、
個別課題(絵合わせカード、ペグボード、パズル、ビーズ色分け等)
- ② 生活介護の作業
午前か午後のいずれかに実施。4つの班に分かれて作業をしました。
- ③ 就労継続支援B型の作業
箱折り、ギフト商品づくり、濾過機の解体、洗浄、組み立て等の作業をしました。
また施設外就労として、農業団体の農作業(補助的作業)に取り組みました。
- ④ 就労継続支援B型の上記③以外の活動
健康の維持管理(体重抑制や体力維持)のため、ダンスや運動器具を取り入れた個別
の活動メニューを作成し継続して取り組みました。

3 事業実績

(1) 主な年間行事

月	内 容	月	内 容
4	お花見（各グループ毎の外出）	10	黒鳥農業祭（6日） 新潟市障がい者運動会（19日） あすなろまつり（12日） 日帰り旅行（29日）
5	黒鳥運動会（19日） ふれあいウォーク（25日）	11	社会体験（就労） 社会体験活動（生活グループ毎）
6	研修旅行（13、14日）	12	地域交流クリスマス会（5日） 合同お楽しみ会（11日）
7		1	成人式（14日）
8		2	
9		3	

4 生産活動の作業実績

	生活介護	就労継続支援B型
作業内容	(受託作業) ・箱折り ・CD分解・分別作業 ・小型家電の分解 ・灯籠作業 ・紙すき創作作業	(受託作業) ・箱折り ・ギフト商品作り ・濾過器の解体、洗浄、組み立て ・プチマット洗浄 ・チラシ・広報誌の封入作業 （縣市等から依頼された作業）
	(その他) ・アルミ缶や古紙等の資源回収	(その他) ・畑での農作物作り（枝豆、さつまいも等）

5 授産・就労作業の収支実績

	収入：年間作業等売上額	支出：月平均1人当たり工賃支払額
生活介護	312,529円（338,005円）	679円（928円）
就労継続支援B型	2,506,926円（2,484,294円）	10,845円（9,367円）

（ ）内は前年度の数値

6 創作活動等の内容

(1) 創作活動

工作、音楽、リトミック、調理実習、書道アート、ミュージック・ケア、紙すき活動、アグリ・ケア・プログラム（動物ふれあい体験、菌ちゃんの土での農業体験、ラベンダー摘み体験等）ほか

(2) 社会参加

ナイスハート基金主催ナイスハートふれあいの広場、
月1回の外出、お楽しみ外食 ほか

(3) 運動支援

ダンス、散歩・ウォーキング、エアロバイク、バランスボール、踏み台昇降、
筋力体力維持の運動 ほか

(4) 地域交流

黒鳥地域運動会、黒鳥地区防災避難訓練、地域交流クリスマス会等

7 職員研修の実績

(1) 県外・県内への研修派遣

県外への派遣はなし。県内の研修実績は下記のとおりです。

- ①「キャリアパス・初任者研修」1人（7月、新潟市）
- ②「キャリアパス・中堅研修」4人（7月、8月、10月、11月新潟市）
- ③「チームワーク向上研修」1人（新潟市）
- ④「コミュニケーションスキル研修・リーダー」1人（新潟市）
- ⑤「記録の書き方」1人（7月10日 新潟市）
- ⑥「気づく力」1人（8月22日 新潟市）
- ⑦「伝える研修」1人（10月16日 新潟市）
- ⑧「モチベーションアップ研修」1人（12月11日新潟市）
- ⑨「エルダー研修」1人（6月25日 新潟市）
- ⑩「接遇研修 リーダー」1名（7月25日 新潟市）
- ⑪「強度行動障害支援者養成研修・基礎研修」3人（10月9日～10日 新潟市）
- ⑫「強度行動障害支援者養成研修・実践研修」2人（11月20日～21日 新潟市）
- ⑬「職場研修担当職員」1名（8月20日～21日 新潟市）
- ⑭「サービス管理責任者研修」1人（10月29日～30日 新潟市）
- ⑮「福祉サービスに関する苦情受付担当者等研修会」1人（10月25日 新潟市）
- ⑯「強度行動障害実践発表講師」1人（10月、11月 新潟市）

(2) 事業所内研修及びOJT

- ① 第1回 事業所内研修（6月8日 8：30～12：30）
 - ・応用行動分析（ABA）について
 - ・虐待防止セルフチェックの振り返りと検証について
 - ・組織内でのチームの大切さについて
 - ・宿泊旅行について
- ② 第2回 事業所内研修（9月28日 8：30～12：30）
 - ・障がいの理解と支援のプロセスについて
 - ・伝え方について
～一人ひとりが心がけることで、一人ひとりの財産になる接し方～
 - ・業務改善について（事前に意見を出してもらい、集約した課題を協議する）

③ 第3回 事業所内研修 (2月1日 8:30~12:30)

- ・行動障がい予防、対応モデル支援におけるアセスメントと冰山シートの考え方と活用について
- ・構造化の基本と活用について
- ・勤務および年次休暇、休憩取得について
- ・令和2年度「目指すあすなる像を話し合おう」

8 事業所内会議とご利用者保護者会

(1) 事業所内会議の実施

職員会議

4月26日	5月17日
6月21日	7月19日
8月30日	9月20日
10月25日	11月22日
12月20日	1月17日
2月21日	3月25日

そのほかの所内会議(毎月1回開催)

生活介護会議、各グループ会議、就労B会議、リスクマネジメント委員会
(職員会議の1週間前に開催)

(2) ご利用者保護者会

第1回 5月13日に開催

第2回 9月9日に開催

第3回 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面による報告になりました

9 地域との関係

地域主催事業に参加するとともに、事業所主催事業に地域の皆さんから参加していただきました。

- ① 黒鳥自治会主催の黒鳥地区運動会(5月19日) 参加者9人
- ② 黒鳥自治会消防団主催の防災訓練及び救急講習(5月19日) 参加者3人
- ③ あすなる福祉園主催地域交流クリスマス会(12月3日) 地域の方の参加者約50人

10 健康管理

ご利用者及び職員の健康管理に努めました。

(1) ご利用者

- ① ご利用者の健康診断の実施(11月~1月)
- ② 嘱託医によるご利用者への健康指導及び相談の実施(7月)(11月)
- ③ インフルエンザ予防接種の実施(11月)

(2) 職員

- ① 健康診断の実施(各職員が順番に受診)
- ② 健康管理のセルフチェック等の実施(必要に応じて面談や個人指導を行いました。)

1 1 施設・設備・車両の状況

下記のとおり適正な維持・管理に努めました。

(1) 施設

- ① ご利用者の生活環境を整えるため、施設内の一角を防音仕様の部屋に改修(6月)
- ② 2、3階ベランダのコンクリート劣化による破片落下の防止工事(10月)
- ③ 屋上高架水槽の補修工事(3月)

(2) 設備

- ① 洗濯乾燥機の購入(1月)
- ② 2階活動室のパーテーション設置(2月)
- ③ 3階廊下電気温水器の設置(3月)

(3) 車両

- ① タイヤ購入1台分(ハイエース)(4月)
- ② 車検2台(ハイエース)(9月、10月)
- ③ 作業納品用車両1台(ハイエース)サイドミラー修理(10月)
- ④ 車検1台(キャラバン)(1月)
- ⑤ 車検1台(ステップワゴン)(2月)
- ⑥ 全車両ドライブレコーダー設置(3月)

1 2 安全管理

下記のとおり必要な施設の維持や安全管理に努めました。

(1) 安全点検の実施

- ① 避難訓練の実施2回(5月火災避難、11月地震避難)
- ② 施設設備の定期点検の実施(浄化槽、エレベーター、貯水槽、消防設備等)

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- | | |
|------------|-----|
| ① ヒヤリハット件数 | 32件 |
| ② けが | 1件 |

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

車両事故	1件
------	----

1 3 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数： 1件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

(2) ご意見箱

受付件数： 0件

1 4 その他特記事項

なし

令和元年度事業報告 青山ファクトリー

令和元年度事業の総括

青山ファクトリーは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指して、ご利用者の希望する作業の確保とそれに伴う工賃支給、創作・表現活動や社会参加活動等を実施しました。事業所内を点検し必要な所を修繕し安心安全な支援サービスの提供に努めました。また、一人ひとりの自立につながる支援の提供を心がけ、次の課題に取り組みました。

(1) 作業の提供と工賃の支給

食品の新商品開発及び既存商品の整理をし、アウトソーシングに努めました。また、農作業の安定的な確保を進めとともに作業の習熟化を図り、工賃の確保に繋げました。

(2) 創作・表現活動や社会参加等

ご利用者の好みや得意分野、それぞれのペースを尊重してプログラムメニューを考えました。創作活動、運動、調理実習、外出及びカラオケ等を通して、みんなが楽しく過ごすことができました。

(3) 安心安全な環境づくり

施設や設備の点検をこまめにし、危険箇所は迅速に修繕しました。ヒヤリ・ハット事例を職員間で共有し事故防止に努めました。事故発生の場合は内部での検証と再発防止に向けた取り組みをし、ご利用者の安心安全に努めました。

(4) 自治会との良好な関係

地域の皆様を事業所主催の地域交流会にご招待することで、事業所の活動やご利用者の様子を身近に知ってもらうことができました。また、公園清掃、自治会の避難訓練等に参加することで、ご利用者の社会体験の機会を増やすとともに地域の皆様との交流を深めました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績（生活介護（定員 12 名）/就労継続支援 B 型（定員 28 名））

	開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
生活介護 (利用者 18名)	247日 [246日]	3,229人 [3,325人]	13.1人 [13.6人]
就労継続支援B型 (利用者 29名)	247日 [248日]	6,353人 [6,235人]	25.8人 [25.2人]

[]内は前年度の数値 ※小数点以下第2位切り上げ

(2) 職員体制

令和2年3月31日現在

	正職員	正職員(兼務)	臨時職員	臨時職員(兼務)	パート職員
管理者		1			
サービス管理責任者	1				
生活介護	2				3
就労継続支援B型	2		5		
運転員					1
合計	5	1	5		4

2 日中活動の状況

(1) 日課について

	月	火	水	木	金
8:30	職員始業				
9:00～ 9:40	登所・始まりの準備				
9:40～ 10:00	朝礼・ラジオ体操				
9:50～11:40	作業	作業	作業	作業	作業
11:40～12:00	作業の後片付け・昼食準備				
12:00～13:00	昼食・昼休み				
13:00～15:10	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動	作業又は レク活動
15:10～16:00	清掃・明日の準備・終礼				
16:00	ご利用者降所(送迎車出発 16:05)				
17:30	職員終業				

(2) 日課の内容

① 生活介護の日常活動

午前は作業を行ないました。作業はご利用者の特性や要望に合わせてしました。具体的には、メーター分解、ふた磨き、キャプロン洗浄、封入作業、ポーロ製造等。

② 生活介護の余暇活動

午後は余暇活動をしました。一人一人のご利用者が毎日を楽しめるようメニューを組んで取組みました。

活動内容は、ストレッチ、ウォーキング、創作、外出、調理実習、リトミック等です。

③ 就労継続支援 B 型の日常活動

午前・午後とも就労作業を実施しました。ご利用者の特性やニーズに合わせた作業の提供に努めました。作業内容は、ギフト商品の箱詰め、箱折り、就農作業、メーター分解、ふた磨き、キャプロン洗浄、封入作業、パン・クッキーの製造販売等です。

④ 就労継続支援 B 型の余暇活動

ご利用者が楽しめ、気分転換になるような行事を実施しました。

3 事業実績

(1) 主な年間行事

月	内 容	月	内 容
4	入所式(1日)	10	社会参加ナイスハート(16日) 日帰り研修旅行(18日) 新潟市障がい者大運動会(19日)
5	ふれあいウォーク(25日)	11	
6	一泊研修旅行(6日～7日)	12	育成会合同お楽しみ会(10日) クリスマス会(20日)
7		1	
8		2	
9	地域交流会(28日)	3	

4 生産活動の作業実績

	生活介護	就労継続支援B型
作業内容	(受託作業) ・箱折り ・ふた磨き ・電気メーター分解 ・キャプロンマット洗浄 ・チラシ・広報誌の封入作業 ・灯ろう作業	(受託作業) ・箱折り ・贈答品商品詰め ・ふた磨き ・電気メーター分解 ・キャプロンマット洗浄 ・チラシ・広報誌の封入作業 ・除草作業 ・就農作業
	(その他) ・ポーロ製造・販売 ・アルミ缶や古紙等の資源回収	(その他) ・パン、クッキー製造・販売 ・クイリング(紙製品)製造・販売

5 授産・就労作業の収支

	収入：年間作業等売上額	支出：月平均1人当たり工賃支払額
生活介護	346,126円(364,492円)	1,318円(1,432円)※1
就労継続支援B型	4,205,637円(4,575,089円)	9,403円(10,276円)※2

()内は前年度の数值

※1 支給していない方は除く ※2 他事業所と併用している方と支給していない方は除く

6 創作活動等

(1) 創作活動

ストレッチ、ウォーキング、工作、外出、調理実習、リトミックその他の活動を提供しました。

(2) 社会参加

一泊研修旅行、障がい者大運動会、ふれあいウォーク、ナイスハートふれあい広場等に参加しました。

(3) 運動支援

公園や体育館でのウォーキング、用具を使用した運動を提供しました。

(4) 地域交流

地域交流会、青山地区の防災避難訓練等に参加しました。

7 職員研修の実績

(1) 県外・県内への研修派遣

- ① 県外研修
派遣はなし
- ② 県内の研修実績

月 日 (曜)	研 修 会 名	参加人数
5月30日 (木)	コミュニケーションスキルアップ初任者	1
6月30日 (日)	一人ひとりに寄り添った支援とは何か	2
7月4日 (木)	接遇初任者コース	1
7月17日 (水)～ 18日 (木)	キャリアパス初任者	1
8月22日 (木)	気づく力研修	1
10月4日 (金)	記録の書き方	1
10月17日 (木)	コーチング研修	1
11月2日 (土)	スヌーズレン基礎講座	3
11月11日 (月)	衛生推進者養成講習	1
11月23日 (土)	自分らしく地域で暮らすためには	6
12月18日 (水)	ひきこもりと発達障害・不安障害	1
12月19日 (木)	サビ管および児童発達責任者更新研修	1

(2) 事業所内研修及びOJT

- ① 5月18日 (土)
 - ・令和元年度事業計画・予算について
 - ・ご利用者、保護者等からの要望について
 - ・行事について
 - ・アセスメント共有方法について

② 9月21日(土)

- ・ご利用者満足度調査について
- ・業務改善や様式の変更について
- ・行事について
- ・未来あんしんサポートについて(講師 ジェイアイシー新潟 福嶋氏)

③ 2月15日(土)

- ・令和2年度事業計画・予算案について
- ・行事について
- ・工賃評価について
- ・意向調査について

8 事業所内会議とご利用者保護者会

(1) 事業所内会議の実施

5月10日、23日、9月2日、17日 行事について会議を開催しました。

8月28日、9月11日、11月11日、1月6日、30日

ご利用者ケース会議を開催しました。

8月1日～支援会議を開催しました。

2月1日～支援会議を開催しました。

(2) ご利用者保護者会

保護者総会 6月19日に開催。所長、サービス管理責任者が出席。
平成30年度事業報告・決算
令和元年度事業計画・予算
事業所の様子その他報告・連絡事項等

第1回 9月6日に開催。所長、サービス管理責任者が出席。
事業所の様子その他報告・連絡事項等
行事の打ち合わせ等

第2回 2月20日に開催。所長、サービス管理責任者が出席。
事業所の様子その他報告・連絡事項等

9 地域との関係

地域主催事業に参加するとともに、事業所主催事業に地域の皆さんから参加していただきました。

- ① 青山ファクトリー主催の地域交流会(9月28日) 地域の方の参加 約60名
- ② 地域の公園清掃を実施しました。(9月、10月、11月)
- ③ 青山地区の防災避難訓練に参加しました(9月7日)

10 健康管理

下記のとおり健康管理に努めました。

(1) ご利用者

- ① ご利用者の健康診断の実施(8月～9月)

- ② 嘱託医による生活介護ご利用者への健康指導及び相談の実施(6月14日、12月6日)
- ③ 新潟市口腔保健福祉センターの口腔内検診実施(就労継続支援B型)(11月6日)
- ④ インフルエンザ予防接種の実施(11月12日～13日)

(2) 職員

- ① 健康診断の実施(6月～12月)
- ② インフルエンザ予防接種の実施(11月～12月)

1 1 施設・設備・車両の状況

下記のとおり適正な維持・管理に努めました。

(1) 施設

- ① 修繕箇所なし

(2) 設備

- ① 職員室エアコン設置工事(6月)

(3) 車両

- ① ドライブレコーダ設置(3台、2月)

1 2 安全管理

下記のとおり必要な施設の維持や安全管理に努めました。

(1) 安全点検の実施

- ① 避難訓練の実施2回(7月29日、12月16日共に地震・津波・火災避難)

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- ① ヒヤリハット件数 26件
- ② けが 5件

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

- ① 車両事故 1件

1 3 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数：0 件 うち解決 0 件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

(2) ご意見箱

受付件数：0 件 うち解決 0 件

1 4 その他特記事項

なし

令和元年度事業報告 福祉事業所つばさ

令和元年度事業の総括

福祉事業所つばさは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指して、支援サービスを実施しました。生き生きと地域で自立した生活が送れるよう、ご利用者の意向を尊重し、働く力・生活する力を高める支援をしました。また、次の課題には、特に力を入れて取り組みました。

(1) つばさの移転について

理事会、評議員会で意見を頂くとともに、ご利用者の保護者様からもご要望を頂き新・つばさの設計を進めてまいりました。令和元年 11 月に工事業者を決定し、12 月に着工しました。令和 2 年 5 月末に完成予定、6 月に移転の予定となっております。

(2) 地域とのよりよい関係づくり

引き続き地域コミュニティ協議会主催の行事に参加し、地域の皆様との交流を深めました。

(3) 日中活動と作業の充実

生活介護では、個別課題の制作やスヌーズレンの実施などに力を入れ、ご利用者の活動が充実するよう取り組みました。また、活動のグループを個別の課題に応じて分けることで、よりご本人に合った活動が提供できるよう工夫をしました。

就労継続支援 B 型では、企業からの受注作業を増やすことで作業量と売り上げの増を図りました。施設外作業のできる人を育て増やすことで、施設外就労のバランスを考えたシフトを組めるようになりました。

一泊研修旅行の実施に当たっては、事情があって旅行に参加できない方のため通常開所をしました。7 名の方が通常開所を利用しました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績（生活介護（定員 10 名）/就労継続支援 B 型（定員 18 名））

	開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
生活介護 (利用者 13名)	242日 [244日]	2,424人 [2,790人]	10.1人 [11.5人]
就労継続支援 B 型 (利用者 22名)	246日 [248日]	4,500人 [4,522人]	18.3人 [18.3人]

[]内は前年度の数値 ※小数点以下第 2 位切り上げ

(2) 職員体制

令和 2 年 3 月 31 日現在

	正職員	正職員(兼務)	臨時職員	臨時職員(兼務)	パート職員
管理者		1			
サービス管理責任者		1			
生活介護	1	1			4
就労継続支援 B 型	2	1	1		1
運転員					2
合計	3	4	1		7

※休業中を含む

2 日中活動の状況

(1) 日課について

	月	火	水	木	金
8:30	職員始業				
8:30～9:00	準備作業				
9:00～9:40	登所				
9:40～9:50	朝礼・ラジオ体操など				
9:50～11:45	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動
11:45～12:00	食事の準備				
12:00～13:00	昼食・昼休み				
13:00～15:00	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動	作業・ 日常活動
15:00～15:30	清掃・終礼など				
15:30～16:00	降所（15:30送迎車発）				
17:30	職員終業				

(2) 日課の内容

① 生活介護の日常活動

2つグループに分けて、午前と午後それぞれ分かれて活動を実施しました。運動（通常の活動に加え月1回3B体操、豊照体育館での運動、不定期でコスボ健康体操教室）、音楽（通常の活動に加え月1回音楽療法士による活動）、創作、園芸、おでかけ、余暇、調理実習を実施しました。

② 生活介護の作業

午前と午後のいずれかは作業に取り組みました。適性や相性等を考慮しながら、就労継続支援B型のご利用者と一緒に作業を実施しました。また、移転後を視野に入れ、生活介護ご利用者のみでの作業にも取り組みました。

③ 就労継続支援B型の作業

午前午後、ご利用者の特性や意向を重視した作業を提供しました。施設外就労では、所内で事前に練習を行った結果、早く仕事に慣れることができました。施設外就労は、人との交わりが多いため社会性を身につける訓練ができました。

④ 就労継続支援B型の上記③以外の活動

就労作業の合間にレクリエーションを兼ねて、不定期に外出活動や調理実習を取り入れ心身のリフレッシュを図りました。また健康を考えて昼休み等にDVDなどを利用したダンスを行いました。

3 事業実績

(1) 主な年間行事

月	内 容	月	内 容
4	入所式(1日) GW 臨時開所 4月29日～5月1日	10	一泊研修旅行(17～18日)
5	ふれあいウォーク(25日) グループお出かけ(22、23、27、28日)	11	グループお出かけ(8、12、13、29日)
6		12	合同お楽しみ会(11日) つばさクリスマス会(21日)
7	旭七ヶ町ワンコインパーティ(6日)	1	成人式(11日)
8		2	つばさお楽しみ会(22日)
9		3	

4 生産活動の作業実績

	生活介護	就労継続支援B型
作業内容	(受託作業) ・リクシル段ボール組み立て ・電気メーター分解 ・タオルたたみ ・チラシ折り ・広報紙等の封入作業	(受託作業) ・リクシル段ボール組み立て ・電気メーター分解 ・タオルたたみ ・チラシ折り ・広報紙等の封入作業 (各取引企業より不定期で入る受託作業あり)
	(自主製品) ・布等(*)を加工した雑貨(ブックカバー、バッグ、ヘアゴム等)の製造、販売	(施設外就労) ・県庁駐車場管理業務(3、6、9、12月) あおぞらポコレーション様と共同受託業務 ・(株)萬松堂様 物流センター内シール貼り業務
	(その他) ・アルミ缶や古紙等の資源回収	(自主製品) ・布等(*)を加工した雑貨(ブックカバー、バッグ、ティッシュ入れ、ヘアゴム等) ・和紙を利用した箸置き 等の製造、販売 (その他) ・アルミ缶や古紙等の資源回収

* 自主製品として亀田縞を使用した布製品作りを始めたところ、皆さんからご好評をいただきました。

5 授産・就労作業の収支

	収入：年間作業等売上額	支出：月平均1人当たり工賃支払額
生活介護	312,977円(204,198円)	1,798円(1,000円)
就労継続支援B型	2,416,934円(2,236,891円)	8,461円(7,606円)

就労の数値は「福祉事業所つばさ」のみ、()内は前年度の数値

6 創作活動等

(1) 創作活動

- ・毎月のカレンダー製作、所内の飾りづくり、個別に絵や造形作品の制作（新潟県芸術文化祭出品）
- ・音楽療法士によるセッション（月1回）、ご利用者の希望を取り入れた合唱やハンドベルの演奏、リズム体操

(2) 社会参加

- ・一泊研修旅行、グループお出かけ（年2回）、イベントへの参加（ふれあいウォーク等）

(3) 運動支援

- ・ダンス、ウォーキング、3B体操（外部講師）、コスポ健康体操教室への参加、体育館での器具を使用した運動、その他個別の課題に沿った運動や活動

(4) 地域交流

- ・豊照地区コミュニティ協議会様主催の行事への参加（豊照地区クリーン作戦参加、とよてる夏まつり出店、豆まき&ミニ運動会等）
- ・旭七ヶ町自治会様との共催イベントの実施（ワンコインパーティー）

7 職員研修の実績

(1) 県外・県内の研修会への派遣

① 県外

- ・全国盲ろう教育研究会 第17回研究協議会（8月3～4日 神奈川）1名
- ・全国社会就労センター協議会主催
工賃スタンダード研修（11月12～13日 東京）1人
- ・新潟県知的障害者福祉協会
令和元年度 先進地視察研修（10月3～4日 石川）1名

② 県内

- ・福祉サービスに関する苦情受付担当者等研修会 1名
- ・エルダー研修 1名
- ・接遇研修（リーダー対象） 1名
- ・気づく力研修 1名
- ・スーパービジョン研修 1名
- ・福祉・介護職員リーダーシップ研修 1名
- ・結核・感染症研修会 1名
- ・伝える力研修 1名
- ・記録の書き方研修 1名
- ・社会福祉施設における安全衛生管理担当者に対する安全衛生講習 1名
- ・衛生推進者養成講習 1名

- ・スノーブレン講習会 2名
- ・本気で就労力・支援力・工賃向上に取り組むセミナー
～新潟県内工賃トップテンの施設に学ぶ～ 1名
- ・新潟県知的障害者福祉協会 令和元年度全県会員研修 2名
(つばさ他4事業所が研修担当として運営。つばさは事務局を担当)

(2) 事業所内研修及びOJT

- ① 5月18日(土) 8:00～12:30
 - ・つばさ移転後の各事業について
- ② 8月31日(土) 8:30～12:30
 - ・業務の基本について
 - ・移転の流れについて
 - ・研修報告(全国盲ろう教育研究会、接遇研修、記録の書き方研修)
 - ・ご利用者支援について ケース検討と支援手順書の作成
- ③ 2月29日(土) 8:30～17:30 (ポルカと共同実施)
 - ・令和元年度収支状況と令和2年度事業計画について
 - ・研修報告
 - ・AED研修
 - ・非常食の試食
 - ・移転先視察、引越計画の作成

8 事業所内会議とご利用者保護者会

(1) 事業所内会議の実施

- ・毎月1回(第4水曜日を基本)全体会議を開催し、各事業における計画の進捗や課題の報告、今後の計画について検討しました。

(2) ご利用者保護者会

- ・つばさ保護者会総会が5月15日に開催され、所長が参加しました。
(理事長と事務局次長が陪席しました)
- ・7月4日に、つばさ移転先(関新)の説明会を開催し、保護者18名と理事長、事務局長、事務局次長、所長、(株)鈴木設計企画の田巻一級建築士が参加しました。

9 地域との関係

地域の事業に参加し、地域の皆さんと交流しました。

- ① 豊照コミ協の総会(5月26日)及び新年会(1月25日) 理事長・所長出席
- ② 豊照コミ協主催「豊照地区クリーン作戦」(6月16日)
(参加予定でしたが雨天のため中止となりました)
- ③ 豊照コミ協主催「とよてる夏まつり」(8月18日)参加者3名(ご利用者2名、職員1名)
- ④ 豊照コミ協主催「豆まき&ミニ運動会」参加者1人(所長)
- ⑤ 旭七ヶ町自治会とつばさ共催「ワンコインパーティー」(7月6日)参加者28人
- ⑥ 旭七ヶ町自治会の総会(5月10日)、新年会(1月18日)、役員会(毎月)(所長)
- ⑦ 新潟市中央区社会福祉協議会主催「新潟柳都中学校区地域福祉ネットワーク会議」(所長)

1 0 健康管理

下記のとおり健康管理に努めました。

(1) ご利用者

- ① 健康診断の実施（10～11月）
- ② 新潟市歯科医師会「口腔健診・研修事業」で、歯科検診受診（10月）
- ③ 新潟市口腔保健福祉センター主催「健診・研修関係業務調整会議」へ所長出席
事業所の現状や口腔健診・研修事業に関する意見を伝えました（1月23日）

(2) 職員

- ① 全職員対象に健康診断の実施（順番に受診）

1 1 施設・設備・車両の状況

(1) 施設

- ① 定期的な見回り（1か月に1回程度）と、台風通過後等に異常がないか目視による点検を実施しました。

(2) 設備

- ① 水道管破裂による漏水あり（校舎と体育館の間）

(3) 車両

- ① 各車両の定期点検・車検を実施し、管理に努めました。
- ② 全車両にドライブレコーダーを設置しました。

1 2 安全管理

(1) 安全点検の実施

- ① 避難訓練を2回実施しました。（7月17日地震・火災避難、11月16日火災避難）
- ② 防火設備の点検を2回実施しました。（9、3月）

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- ① ヒヤリハット件数 13件
- ② けが 0件

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

3件

1 3 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数：0件 うち解決 0件（利用者からの福祉サービスについての苦情は0）

(2) ご意見箱

受付件数：0件 うち解決 0件

1 4 その他特記事項

なし

令和元年度事業報告 福祉事業所いしやま

(福祉事業所つばさの従たる事業所)

令和元年度事業の総括

福祉事業所いしやまは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指して、支援サービスの提供を行いました。

ご利用者が充実した日々を過ごせるよう継続した作業の提供、地域の方との共生を目的とした活動を実施しました。

また、一人一人の自立につながる支援の提供と安心できるサービスの提供を心がけて、次の課題への取り組みました。

(1) 単独事業所へ向けて

以前からの目標でありました単独事業所移行について準備をすすめてきました。新潟市とヒアリングを重ね、理事会の決議を経て、令和2年4月1日より定員20人の単独事業所として独立します。

(2) 土日祝日の試験的開所

4月27日から5月6日までの連休中に3日間臨時開所したため、12月7日の1回のみでした。ご利用者16名中7名の利用があり、地域の行事「なかのやまいきいきひろば」に参加しました。

(3) 作業環境の充実

- ① 作業資材保管のための物置を外部階段の下、1階玄関前に設置しました。今までは2階に保管していたため、資材の運搬で1階の作業場と行き来する必要があり安全性に不安がありました。今後は資材を持って階段を昇降する必要がなくなるため、作業の効率化と安全性を確保できました。
- ② 真柄福祉財団の助成を受けて、厨房蒸し器の買い替えをしました。(今まで、古い蒸し器が時々故障して厨房作業が停止したことがありました)
- ③ 送迎用車両を老朽化のため1台買い換えました。その結果、8人乗りの車両が2台になり、行事などで遠出をすることが可能になりました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績 (就労継続支援B型 (定員12名))

	開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
就労継続支援B型 (利用者 17名)	251日 [249日]	3,190人 [3,253人]	12.8人 [13.1人]

[]内は前年度の数値

(2) 職員体制

令和2年3月31日現在

	正職員	正職員(兼務)	臨時職員	臨時職員(兼務)	パート職員
管理者		(1)※			
サービス管理責任者	1				
就労継続支援B型			3		1
合計	1	(1)	3	0	1

※ 管理者の(1)は つばさの所長

2 日中活動の状況

(1) 日課について

	月	火	水	木	金
8:30	職員始業				
8:30～9:00	準備				
9:00～9:30	登所・始まりの準備				
9:30～10:00	朝礼・ラジオ体操				
10:00～12:00	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)
12:00～ 13:00	昼食・昼休み				
13:00～15: 10	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)	作業・活動 (休憩あり)
15:10～15: 40	清掃・終礼				
15:40～16: 00	(15:50送迎車発) 降 所				
17:30	職員終業				

(2) 日課の内容

① 就労継続支援 B 型の日常活動

午前午後ともご利用者の特性にあった作業に従事してもらいました。

② 就労継続支援 B 型の上記以外の活動

作業の他に体力の維持、体重管理のため運動活動を実施しました。

3 事業実績

(1) 主な年間行事

月	内 容	月	内 容
4	入所式(1日) お花見(10日)	10	障がい者大運動会(19日)
5	ふれあいウォーク(16日)	11	日帰り旅行(15日)
6	いしやままつり(15日)	12	合同お楽しみ会(10日)
7		1	
8	外食会(28日)	2	節分(5日)
9	研修旅行(19日、20日)	3	外食会(新型コロナ対策で延期)

4 生産活動の作業実績

就労継続支援 B 型	
作業内容	<p>(受託作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計器分解 ・LPガスボンベ用バルブのシール剤塗りの作業 ・箱折り ・封入作業 ・活性炭収納袋の作成作業 <p>(施設外就労)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅共有スペースの清掃 ・農家での農作業 ・駐車場の除草作業
	<p>(自主製品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品（ジャム、カステラ風洋菓子） ・雑貨（ボールペン、マグネットの装飾品）

5 就労作業の収支

	収入：年間作業等売上額	支出：月平均1人当たり工賃支払額
就労継続支援 B 型	1,872,516 円 (1,963,656 円)	7,093 円 (7,544 円)

() 内は前年度の数値

6 創作活動等

(1) 社会参加

研修旅行、ふれあいウォーク、日帰り旅行 等

(2) 運動支援

みなとトンネルなどで運動活動 等

(3) 地域交流

いしやままつりの開催、「なかのやまいきいきひろば」への参加、地域支え合い活動「輪とくらぶ」の実施 等

7 職員研修の実績

(1) 県外への研修派遣

令和元年度はありませんでした。

(2) 県内の研修参加

① コミュニケーションスキルアップ研修

5月30日(木) (1名)

② 福祉製品コンプライアンス研修

7月9日(火) (1名)

③ 新潟県強度行動障害者支援者養成研修基礎研修

10月9日(水)、10月10日(木) (1名)

④ モチベーションアップ研修

12月11日(水) (1名)

- ⑤全県会員研修会
12月13日（金）（1名）
- ⑥新潟県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修
12月19日（木）（1名）
- ⑦衛生推進者養成講習
2月17日（月）（1名）
- ⑧本気で就労力・支援力・工賃向上に取り組むセミナー
2月21日（金）（1名）

（3）事業所内研修及びOJT

- ① 第1回事業所内研修 6月8日（土）8：30～12：30
 - ・令和元年度事業計画の再確認と福祉事業所いしやま予算書の確認
資料をもとに報告、検討を行ない、今後の取り組みを再確認しました。
 - ・「5S」の取り組み
研修資料「5S導入からHACCP導入まで」をもとに座学をし、実際の作業手順の確認や考えられる課題について職員間で話しあいました。
- ② 第2回事業所内研修 9月29日（日）
 - ・中野山小学校区の合同避難訓練に参加しました。地域の避難場所の確認、段ボールトイレの作り方、心肺蘇生法等の講習を受けました。
- ③ 第2回事業所内研修 2月29日（土）8：50～16：00
 - ・AEDの操作講習
福祉事業所つばさとグループホームポルカと合同でAEDの操作方法をアルソック（新潟総合警備保障株式会社）の協力を得て実施しました。
 - ・伝達研修 「衛生推進者講習会」の報告
参加した職員に衛生推進者講習会の報告を行ってもらいました。

8 事業所内会議とご利用者保護者会

（1）事業所内会議の実施

4月10日、5月7日、6月10日、7月4日、11月11日、12月3日、1月30日に職員会議を開催しました。また、必要があれば職員ミーティング後にケース会議を開催しました。

（2）ご利用者保護者会

第1回 5月15日に総会が開催され、平成30年度就労決算案、活動状況を報告しました。

第2回 8月28日開催、自主商品の値上げやこれからの行事や活動について報告しました。
第3回 2月19日に開催され、令和2年度の役員が選出されました。

9 地域との関係

- ① 福祉施設地域ふれあい事業の助成を受けて、当事業所主催の「いしやままつり」を開催しました。約70人が参加しました（6月15日）
- ② 中野山小学校区コミュニティ協議会主催の合同防災訓練に参加しました。（9月29日）
- ③ 中野山小学校区コミュニティ協議会主催の「なかのやまいきいきひろば」に参加しました。（12月7日）

10 健康管理

(1) ご利用者

- ① ご利用者の健康診断を実施しました。（9月4日、9月18日）

(2) 職員

- ② 職員の健康診断を随時実施しました。

11 施設・設備・車両の状況

(1) 施設

- ① 1階外階段下に資材保管用の物置を設置しました。（9月）
- ② 厨房の蒸し器を買い換えました。（公益財団法人真柄福祉財団の助成）（1月）

(2) 車両

- ① 送迎車1台を入れ替えしました。（7月）
- ② 全車両にドライブレコーダーを設置しました。

12 安全管理

(1) 安全点検の実施

- ① 避難訓練を2回実施しました。（7月地震火災避難、11月火災避難）

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- ① ヒヤリハット件数 14件
- ② けが 件数 0件

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

- ① 0件

13 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数： 0件 うち解決 0件（利用者からの福祉サービスについての苦情は0）

(2) ご意見箱

受付件数： 0件 うち解決 0件

14 その他特記事項

なし

地域支え合い事業 輪っくらぶ

令和元年度事業の総括

地域の高齢の方や障がいのある方の生活上のちょっとした困りごとで、いしやまのご利用者ができる作業があればお引き受けして代行作業をしました。庭や敷地内の除雪や除草作業、水まきなどの作業をすることで、地域に住む人たちとご利用者の交流を深めることができました。

今年度は、「しっかりお助け内容」の除草作業で12件、「ちょこっとお助け内容」の花壇水まき代行で27件の依頼がありました。暖冬の影響で除雪作業はありませんでした。

(1) 活動収入

活動内容	料金単価(円)	件数(件)	合計時間(h)	金額(円)
除草作業(4/1依頼のみ)	500円/時間	1	2	1,000
除草作業	800円/時間	11	34	27,200
除雪作業	500円/時間	0	0	0
花壇水まき代行	300円/回	27		8,100
合計		39	36	36,300

(2) 経費収入

費目	単価(円)	件数(件)	合計距離(km)	金額(円)
ガソリン代	25円/km	11	74	1,850

(3) 合計

(1)+(2)合計金額(円)				38,150
----------------	--	--	--	--------

令和元年度事業報告 福祉事業所ハーモニー

令和元年度事業の総括

福祉事業所ハーモニーは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指して、支援サービスを行いました。一人ひとりの自立につながる支援の提供を心がけ、次の課題に取り組みました。ご利用者の日中活動の場としてサービス提供を通じて、社会参加の機会をつくりました。

(1) 生きる喜びを感じることができる日常生活を送ります

作業や活動等の日中活動を通して、働く喜び、生活を楽しむ喜びを感じられよう、日中のサービスを提供しました。

(2) ご利用者・ご家族との適切な連携を図ります

ご利用者及びご家族の意向を真摯に聞き、寄り添いながら、支援を行いました。ご家族と連携し、より良いサービスの提供に向けた取り組みをしました。

(3) 人とのふれあいや、さまざまな体験の機会を設けます

ご利用者同士や職員とのふれあいを通じてコミュニケーションスキルを高め、所内行事や地域活動への参加を通じて、様々な体験や新しい体験をする機会を設けました。

(4) 地域の一員として生きていくため、地域社会との確かなつながりをつくります

地域での活動や行事に積極的に参加し社会参加の機会を増やすことで、地域の方々とのふれあいや地域とのつながりを深めました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績（生活介護（定員 30 名）/就労継続支援 B 型（定員 10 名））

	開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
生活介護 (利用者 33名)	251日 [253日]	7,300人 [7,099人]	29.1人 [28.1人]
就労継続支援B型 (利用者 12名)	251日 [253日]	2,695人 [2,732人]	10.8人 [10.8人]

[]内は前年度の数値 ※小数点以下第2位切り上げ

(2) 職員体制

令和元年3月31日現在

	正職員	正職員(兼務)	臨時職員	臨時職員(兼務)	パート職員
管理者		1			
サービス管理責任者		1			
生活介護	4		1		4
就労継続支援B型	2				2
運転員					1
合計	6	2	1		7

2 日中活動の状況

(1) 日課について

	月	火	水	木	金
8:30	職員始業				
8:30～ 9:00	準備				
9:00～ 9:30 (～9:40生活)	登所・始まりの準備				
9:30～10:00 (9:40～生活)	始まりのミーティング・ラジオ体操など				
10:00～11:50	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)
10:50～12:00	昼食の準備				
12:00～13:00	昼食・昼休み				
13:00～15:10	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)	作業・日常活動・レク活動 (休憩あり)
15:10～15:45	清掃・終わりのミーティングなど				
15:45～16:00	(15:50送迎車発) 降所				
17:30	職員終業				

(2) 日課の内容

① 生活介護の余暇活動

余暇活動は月ごとにご利用者から選択してもらい、希望の余暇活動に参加していただきました。

運動活動、ウォーキング、ミュージックケア、アート活動、調理実習、リズム体操などの創作活動を実施しました。また講師によるスヌーズレン体験を行い、参加の機会を提供しました。「息抜きの時間」としてカラオケや DVD 鑑賞も行いました。

② 生活介護の作業

作業は午前・午後に、数人のグループに分かれて実施しました。

③ 就労継続支援 B 型の作業

午前午後ともご利用者の特性にあった作業（食品製造、封入作業、清掃・除草の施設外就労、納品等）に従事してもらいました。

④ 就労継続支援 B 型の上記③以外の活動

作業の他に、余暇活動として生活介護の行っている選択制の余暇活動に参加する機会を設けました。

運動活動、ウォーキング、ミュージックケア、アート活動、調理実習、リズム体操等

3 事業実績

(1) 主な年間行事

月	内 容	月	内 容
4	日帰り旅行(26日)	10	ハーモニー感謝祭(12日) 新潟市障がい者大運動会(19日)
5	ふれあいウォーク(25日)	11	ご利用者健康診断(21日) 就労Bご利用者口腔健診(28日)
6	研修旅行(20日～21日)	12	合同お楽しみ会(10日) お楽しみ会(20日)
7		1	
8		2	選択レクリエーション(全7回実施) 節分(4日)
9		3	職員お別れ会(25日)

4 生産活動の作業実績

	生活介護	就労継続支援B型
作業内容	(受託作業) ・電気メーター分解 ・和装小物仕上げ ・箸セットづくり ・プチマット洗浄 ・チラシ折込 ・ボール洗浄 (自主製品) ・雑貨製品製作(卓上カレンダー、オリジナル名刺、ポストカード、アロマボール、オリジナルトートバッグ)	(受託作業) ・施設外就労(清掃) ・施設外就労(除草) ・食品加工 ・封入作業(県市から依頼される作業) (自主製品) ・食品製造(手作りせんべい各種、焼き菓子)

5 授産・就労作業の収支

	収入：年間作業等売上額	支出：月平均1人当たり工賃支払額
生活介護	894,894円(916,842円)	1,706円(1,875円)
就労継続支援B型	2,941,574円(2,664,177円)	13,361円(12,823円)

()内は前年度の数値

6 創作活動等

- ① 創作活動
アート活動（アートキャンプ新潟イベントにて合同作品を出品、全国芸術文化祭にて個人作品を一品出品） ミュージックケア、調理実習他
- ② 社会参加
シルバーピア石山の除草活動、選択レクリエーションのグループ外出（カラオケ、ボーリング、月岡温泉足湯、マリニピア日本海）
- ③ 運動支援
運動活動、ウォーキング、リズム体操
- ④ 地域交流
各種バザーに出店

7 職員研修の実績

（1）県外・県内への研修派遣

- ① 県外研修
なし
- ② 県内研修
 - ・キャリアパス構築支援研修 5月20日 所長参加
 - ・キャリアパス初任者研修 7月17～18日 職員1名参加
 - ・コミュニケーションスキルアップ研修【初任者コース】
 - 5月30日 職員1名参加
 - ・ストレスマネジメント研修 5月31日 職員1名参加
 - ・エルダー研修 6月5日 職員1名参加
 - ・接遇研修【初任者コース】 7月4日 職員1名参加
 - ・記録の書き方研修 7月10日 職員1名参加
 - ・対人援助職のためのファシリテーション研修
 - 11月12日 職員1名参加

（2）事業所内研修及びOJT

- ① 第1回事業所内研修
 - ・令和元年5月18日
 - ・ご利用者の支援について職員で情報共有し、支援の統一化を図りました。
 - ・生活介護サービスと就労継続支援B型サービスの今年度の取り組みについて話し合い、今後の進め方について確認することが出来ました。
- ② 第2回事業所内研修
 - ・令和元年9月14日
 - ・ハーモニーの施設運営について職員と考える機会を持ちました。ハーモニーをどんな施設にしたいか、理想のハーモニー像をみんなで描いてみました。

③ 第3回事業所内研修

・令和2年3月14日

・前回に引き続き、理想のハーモニー像について話し合い、具体的な取り組みについて決めました。

8 事業所内会議とご利用者保護者会

(1) 事業所内会議の実施

- ・毎月1回、定期的に職員会議を行った。
- ・個別支援計画作成のための支援会議（9月、3月）
- ・工賃評価のための評価会議（5月、11月）

(2) ご利用者保護者会

第1回(5月28日) 所長がオブザーバーで参加しました。

第2回(8月28日) 所長がオブザーバーで参加しました。

ハーモニー感謝祭について説明をしました。

第3回(3月予定) ※ 新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

9 地域との関係

- ① 新潟ライオンズクラブ主催のふれあいウォークにご利用者・保護者が参加しました。(5月25日)
- ② シルバーピア石山へ除草作業に行きました。
- ③ 新潟市主催の障がい者大運動会にご利用者と保護者が参加しました。(10月19日)

10 健康管理

(1) ご利用者

- ① ご利用者の健康診断を実施しました。(11月)
- ② 新潟市口腔保健福祉センターの協力により、就労Bご利用者の口腔健診を実施しました。(11月)

(2) 職員

- ① 職員の健康診断を実施しました。(7～12月随時)

1 1 施設・設備・車両の状況

(1) 施設

- ① ふれあいルームのエアコン室内機の基盤交換を行いました。(9月)

(2) 設備

- ① パソコンの無線 LAN の入れ替えを行いました。(5月)

(3) 車両

- ① 4台の社用車にドライブレコーダーを設置しました。

1 2 安全管理

(1) 安全点検の実施

- ① 避難訓練を3回実施しました。
(7月地震避難、11月火災避難、1月洪水避難)

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- ① ヒヤリハット件数 20 件数
- ② けが 0 件数

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

なし

1 3 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数： 2件 うち解決 2 件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

(2) ご意見箱

受付件数： 0件 うち解決 0 件

1 4 その他特記事項

なし

令和元年度事業報告 共同生活援助事業所ポルカ

(グループホーム)

令和元年度事業の総括

共同生活援助事業所ポルカは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指し、家庭的な雰囲気を大切にして支援サービスの提供を行いました。

- (1) ご利用者が安心して過ごせるよう、ご家庭、通所施設、就労先、また相談支援センター、成年後見人及び移動支援等のサービス提供事業者との連携を図りました。
- (2) 感染症の予防や対策、虐待防止について、職員全員で認識を深めるよう周知に努めました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績

開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
305 日 [306 日]	3,726 人 [3,791 人]	12.3 人 [12.4 人]

・利用者 13 名 [13 名] (ポルカ、ロンド、ワルツの 3 棟) []内は前年度の数値 ※小数点以下第 2 位切り上げ

(2) 職員体制

- ① 連携施設；福祉事業所つばさ
- ② 管理者；1 名 (つばさ所長 兼務)
- ③ サービス管理責任者；1 名 (つばさサービス管理責任者 兼務)
- ④ 生活支援員；7 名 (うち 1 名はカノンと兼務)
- ⑤ 世話人；11 名

2 事業実績

- (1) 個別支援計画について、ご利用者及び保護者のご希望を聴き、モニタリングを実施し、それに基づいた支援会議を重ね三者面談を行いました。
三者面談ではモニタリングの説明を行い、支援計画の内容や生活の様子などを話し合い、ご利用者の快適な生活を送るために必要な支援の提供に努めました。
- (2) ご利用者が生活する中で必要な、洗濯や掃除、衣類の管理などについて、本人の希望を取り入れ、それに沿った方法で、ご利用者と支援員・世話人が一緒に行いました。
- (3) 定期的にサービス管理責任者・支援員・世話人による会議を行い、快適な生活に必要な改善やその対策を話し合い、実施しました。
- (4) インフルエンザ、ノロウイルスなどの流行時には、手洗い及びうがいをよりていねいに行うよう注意を払い、毎日の検温も実施しました。
- (5) 食事について、栄養バランス・カロリー・衛生面に配慮したメニュー作成や調理に当たりました。
- (6) 月 1 回、お任せメニューの日として世話人の考えた献立による食事を提供しました。
- (7) ホームにおける生活の自立度を高めるために、自室の清掃や整頓などできることから取り組んでいただきました。
- (8) 生活に彩を添えるため、誕生日やクリスマスなどの行事を行いました。

3 職員研修の実績

- ①つばさと合同で事業所内研修を実施しました。(2月29日)
- ②グループホームの業務や支援に関する研修に参加しました。(9件)

4 事業所内会議

(1) 事業所内会議の実施

- ①毎日、各ホームのご利用者の様子や設備等の問題点を挙げて検討し、解決に向けた取り組みを行いました。
- ②月に1回世話人会議を開催し、グループホーム内の情報共有を図りました。

5 地域との関係

- ①地域の清掃や、町内の行事に積極的に参加しました。
- ②ご利用者が、町内の側溝清掃への参加やゴミ出し、回覧板を回すなど、地域住民としての役割を果たせるよう支援に努めました。

6 健康管理

(1) ご利用者

- ①毎朝検温を実施しました。
- ②発熱やご利用者の体調変化に常に注意を払い、必要に応じてご家庭や通所事業所への連絡などの対応を行いました。

(2) 職員

- ①支援員・世話人全員の健康診断を実施しました。

7 施設・設備・車両の状況

(1) 施設

- ①台風通過後等に、建物等に異常がないか目視による点検を実施しました。
- ②ロンドでご利用者の皆様が安全に出入りできるよう、リビングのドアを引き戸へ変更しました。その他にも必要な修繕を実施しました。

(2) 設備

- ①火災防止の観点から、ガスコンロをIH(電磁調理器)に入れ替えました。

(3) 車輛

- ①日ごろから点検に留意した結果、特に異常や問題はありませんでした。
- ②社用車両にドライブレコーダーを設置しました。

8 安全管理

- (1) 月1回、ご利用者と生活支援員・世話人が避難訓練を実施しました。訓練後には問題点を検討し改善に努めました。

9 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数： 0件 うち解決 0件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

10 その他

特になし

令和元年度事業報告 共同生活援助事業所カノン

(グループホーム)

令和元年度事業の総括

共同生活援助事業所カノンは、障がいのあるなしにかかわらず「当たり前の人生」を実現することを目指して、支援サービスの提供を行いました。一人ひとりの自立につながる支援を心がけ、次の課題に取り組みました。ご利用者の「生活の場」として居心地の良い環境とサービスを提供することができました。

(1) 自立して生きる喜びを感じることができる日常生活を提供します

グループホームで自立に向けた生活を通して、生きる喜びや、生活を楽しむことができるように、支援サービスを提供しました。

(2) ご利用者・ご家族との適切な連携を図ります

ご利用者及びご家族の意向を真摯に聞き、寄り添いながら、支援を行いました。ご家族と連携して、より良いサービスの提供に向けた取り組みをしました。

(3) 安心して、快適な生活を送れるよう支援します

グループホームで安心してくつろいでいただけるように、生活環境を整えながら、過ごしやすい環境づくりに努めました。

(4) 地域の一員として生きていくため、地域社会との確かなつながりをつくります

地域の役割を担うことによって、地域住民の一員として生活していることを自覚する機会を設けました。

1 ご利用者・職員の状況

(1) 開所日数・利用人数の実績

開所日数	年間利用人数	一日平均利用人数
290日 [291日]	1,123人 [1,136人]	3.9人 [3.9人]

利用者4名 [4名] 1棟 []内は前年度の数値 ※小数点以下第2位切り上げ

(2) 職員体制

- ① 連携施設；福祉事業所ハーモニー
- ② 管理者；1名 藤田望菜(ハーモニー所長)
- ③ サービス管理責任者；1名 熊倉雄介(ハーモニーサービス管理責任者)
- ④ 生活支援員；2名(うち1名はポルカと兼務)
- ⑤ 世話人；5名

2 事業実績

- (1) 個別支援計画については、ご利用者及び保護者のご希望を聴き、それに基づいたモニタリング会議と三者面談を行いました。三者面談ではモニタリングの説明を行い、支援計画の内容や生活の様子などを話し合い、ご利用者の快適な生活を送るために必要な支援を提供できるように努めました。
- (2) ご利用者が生活する中で必要な、洗濯や掃除、衣類の管理など本人の希望を取り入れ、それぞれに沿った内容を考えながら、ご利用者が支援員・世話人と一緒に行うようにしました。
- (3) 定期的に管理者・支援員・世話人による会議を行い、快適な生活を送るために問題点や改善点などを検討し、その対策を話し合い、実行しました。

- (4) インフルエンザ、ノロウイルスなどの流行時には、手洗い及びうがいをていねいに行うように注意を払い、また毎朝検温をしました。
- (5) 食事についてはバランス・カロリー・衛生面に配慮したメニュー作成や調理をしました。
- (6) 月1回お任せメニューの日として世話人の考案したメニューの食事を提供しました。
- (7) ホームにおける生活の自立を高めるために、自室の清掃や整頓など無理のない範囲で取り組んでもらいました。
- (8) 誕生日会やクリスマスなどの行事を行いました。

3 職員研修の実績

- (1) 法人内部研修に参加をしました。
- (2) 県社協主催のコミュニケーションアップ研修に職員が1名参加しました。

4 事業所内会議

- (1) 毎月、世話人会議を開催し、サービス管理責任者、支援員、世話人が出席し、個別支援計画の進捗状況等を確認し、情報共有を行いました。
- (2) 個別支援計画のモニタリング時に、支援会議を行い、意見交換を行いました。
- (3) 個別支援計画決定後、支援会議を行い、支援方法の共通理解を図りました。

5 地域との関係

- (1) 町内のゴミステーションの清掃を行いました。
- (2) ゴミ出しや回覧板を回すなど、ご利用者に出来ることをしてもらいました。

6 健康管理

- (1) 毎朝、検温を行い、ご利用者のバイタルチェックに努めました。
- (2) 朝晩のデンタルケアを行い、口内の衛生に配慮しました。
- (3) 服薬管理を徹底することで、安心して日常生活が送れるように努めました。

7 施設・設備・車両の状況

特になし

8 安全管理

- (1) ご利用者と世話人・職員で避難訓練を定期的実施しました。火災時、地震時、水害時を想定して、災害ごとの対応を確認しました。毎月の訓練により、徐々に避難行動を迅速に実行できるようになりました。
- (2) 訓練後には問題点を検討し改善に努めました。
- (3) 緊急時災害避難バッグをご利用者や世話人の人数分用意し、玄関に配置しました。

9 苦情等の対応について

受付件数： 0件 うち解決 0件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

10 その他

特になし

令和元年度事業報告 相談支援センターくろっとり

(特定相談支援事業所)

令和元年度事業の総括

- (1) **自立支援** ご利用者がライフステージのあらゆる段階において、障がいの程度にかかわらず、自立した生活をめざし、社会活動へ積極的に参加できるように支援しました。
- (2) **主体性の尊重** ご利用者が、一人の生活者として、自らの生活を自らの意思で選択・決定し、築けるよう、可能な限り本人の意思を尊重し、自己決定ができるように支援しました。
- (3) **生活の質（QOL）の向上** 物質的に豊かな生活をめざすだけでなく、ご利用者の人格と個性を尊重し、人間らしく生きていく内面的充実感を豊かにすることを含めて、ご利用者のよりよい生活を重要視した支援をしました。
- (4) **業務分担を明確化** 業務内容を精査し役割や範囲を明らかにし、適切に業務を遂行出来る様に取り組みました。また、業務マニュアルを作成し、業務処理の遅滞が無いように取り組みました。

1 特定相談支援事業の実施状況

(1) 目的・対象者

目的：指定特定相談支援事業に基づき相談支援を適切に提供しました。ご利用者が地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、サービス等利用計画を作成しました。

対象者：18歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

契約者数：154名（前年度 154名）

(2) 事業実施職員体制（令和2年3月31日現在）

管理者：1名（兼務）

相談支援専門員：3名（2名、兼務1名）

パート事務員：1名

(3) 事業実施内容の内訳

① モニタリング報告及びサービス等計画の交付について

区分	年間件数	月平均件数
サービス等利用計画	157件（256件）	13.1件/月（21.3件/月）
モニタリング報告書	313件（182件）	26.1件/月（15.2件/月）

()内は前年度の数値

② 相談方法について

区分	年間件数
電話相談	688件（460件）
自宅訪問	127件（101件）
事業所訪問	239件（182件）
来所相談	65件（29件）
その他	101件（63件）
合計	1,220件（835件）

()内は前年度の数値

2 相談支援の取り組み

- (1) 法人の基本理念である人間尊重・自立支援・幸福追求を目指す考えに基づき、ご利用者の想い・願いや抱える課題を真摯に受け止め、ご利用者に寄り添った適切なサービス等利用計画を作成する事ができました。
- (2) ご利用者との面談や電話相談などの機会に合わせて、必要な情報提供及び助言を行い、より良い福祉サービス利用に繋げる事ができました。
- (3) 他相談支援事業所・基幹相談事業所、日中活動事業所等、医療機関や行政などと連携を図り、適切な福祉サービスが実施されるよう取り組みました。特に課題を抱えるご利用者には、多くの関係機関と調整を図りました。
- (4) 民生児童委員などと協力し、ご利用者が地域生活をしやすい環境作りをしました。

3 職員研修の実績

相談支援に関連する研修に参加し、職員のスキルアップ及び質の向上を実施しました。また、事業所内等の研修も実施しました。

(1) 障害支援区分及び相談支援従事者関連研修

- ① 障害支援区分認定調査員及び市町村審査会委員研修に参加しました。(4月)
- ② 相談支援従事者現任者研修に参加しました。(8・10月)
- ③ 新潟市相談支援現任者向け研修に参加しました。(12月)

(2) 相談支援体制加算の研修

- ① 精神障がい者地域移行・地域定着支援研修に参加しました。(12月)

(3) 新潟市障がい者自立支援協議会の研修

- ① 新潟市における地域生活支援拠点等についてに参加しました。(12月)

(4) 社会福祉士会及び社会福祉協議会の研修

- ① 成年後見活用講座(入門編)に参加しました。(6月)
- ② 成年後見活用講座(ステップアップ編)に参加しました。(9月)
- ③ 福祉職場の働き方改革研修に参加しました。(6月)
- ④ コミュニケーションスキルアップ研修リーダーコースに参加しました。(6月)
- ⑤ 相談面接技術基礎研修に参加しました。(7月)

(5) 法人及び事業所内研修

- ① 法人全体研修に参加しました。(7月・11月・1月)
- ② 事業所内研修を実施しました。(4月・9月・3月)

4 関係機関等との連携

西区、西蒲区にある相談支援事業所、障がい者基幹相談センター西及び西区障がい福祉係等の関係機関との研修や会議に参加しました。

- ① 西区相談支援事業所会議・がくふく会議に参加しました。
(4月・6月・8月(欠)・10月・12月・2月)
- ② 西区・西蒲区この指とまれ研修に参加しました。(5月・7月・9月・11月)
- ③ 新潟県手をつなぐ育成会の研修に参加しました。(6月)
- ④ 新潟地区手をつなぐ育成会連絡協議会の研修に参加しました。(11月)

5 健康管理

- ① 職員4名の健康診断を実施しました。(11～2月)

- ② 職員4名のインフルエンザ予防接種を行いました。(11～12月)
- ③ 衛生推進者養成講習に参加し、職場環境の改善・見直しをしました。(8月)

6 施設・設備・車両の状況

- ① 相談支援のために使用する車両2台は、事故なく安全に運行しました。
- ② 社用車両にドライブレコーダーを設置しました。

7 安全管理

(1) 安全点検の実施

- ① あすなろ福祉園と合同の避難訓練を2回実施しました。
 - ・ 5月火災避難
 - ・ 12月火災避難

(2) ヒヤリハットやけがの発生状況

- ① ヒヤリハット件数 0件
- ② けが 0件

(3) 車両運行に関わる事故の発生状況

- ① 車両事故 0件

8 苦情等の対応について

(1) 苦情

受付件数： 0件 (利用者からの福祉サービスについての苦情は0)

(2) ご意見箱

受付件数： 0件

9 その他

(1) 課題について

- ① 将来に向け長期的に安定した事業を継続するために、計画的な相談支援専門員の養成が必要である。相談支援専門員は幅広い福祉サービスの知識や、関係機関との連携についてのノウハウが求められる。養成には、長期的な人材育成システムを確立する必要がある。
- ② モニタリング期間が短くなり頻度が多くなり、業務が多忙となっている。滞りなく業務遂行するよう努める。